



No.143

2022.3.17

兵庫県立神戸商業高校

図書館

新着図書紹介

### 新学年に向けて

春休み期間に新学年の準備をしましょう。  
前年度の反省のうえに、気持ちを切り替えて持った新たな自信を重ねて、好スタートをきろう！

### 春休み長期貸出期間

3/18(金)～4/15(金)



### 『春夏秋冬代行者—春の舞』 行成 薫【著】

目覚めると、世界に二人きりとなっていたサチとワタル。不意に現れた管理人を自称する女に、ここは生と死の「狭間の世界」だと告げられる。二人の肉体は、今まさに死を迎えようとしている、と一。

### 『13歳からのアート思考 自分だけの答えが見つかる』

末永 幸歩【著】

こんな考え方…あったのか!! 論理もデータもあてにならない時代…【マティス/ピカソ/カンディンスキー/デュシャン/ポロック/ウォーホル】20世紀アートを代表する6作品だけで「アーティストのように考える方法」が手に入る! 700人超の中高生たちを熱狂させた人気授業が書籍化!!

### 『星ひとみの天星術』 星 ひとみ【著】

『突然ですが占ってもいいですか?』(フジテレビ系)など、各種メディアで話題騒然! 驚異的中率で人気急上昇のオリジナル運勢鑑定法「天星術」のすべて。

### 『知的文章術入門』

黒木 登志夫【著】

大学での講義をもとに、論文、報告書、レポートなど、事実と考えを正確に伝える文章術、プレゼン術を指南。デジタル社会ならではの視点が光る。日本語の事例は痛快、英語文例は実践で役に立つ。

### 『世界を変えた10人の女性科学者 一彼女たちは何を考え、信じ、実行したか』 松岡 圭祐【著】

化学者、物理学者、生物学者、天文学者、医学者と、分野は違えど現代科学の一端を支える業績を残した女性科学者たち10人を紹介する。女性の貢献が気にとめられなかった時代に生きて、困難をものともせず、世界をより良い場所に変えてきた彼女たちが生きた時代と生きざまを見よう。



### 『一ノ瀬ユウナが浮いている』 乙一【著】

17歳の時、水難事故で死んだはずの幼馴染みの一ノ瀬ユウナは、当時の姿のまま、俺の目の前にいる。不思議なことだが、ユウナのお気に入りの線香花火を灯すと、俺にしか見えない彼女が姿を現すのだ。

### 『図解 日本のしきたり 眠れなくなるほど面白い』

千葉 公慈【著】

1年を通して行われる暮らしの中のしきたりと成長や長寿などを祝う「通過儀礼」のしきたり、「冠婚葬祭」のしきたりを「しきたり七不思議」的な視点で解説します。

『ウスビ・サコの「まだ、空気読めません!」』

サコ、ウスビ【著】

スリッパの使い分けに戸惑ったり、うわっ、このスリッパ、トイレのやつやん…!日本人に「無宗教なんです」と言われて驚いたり、えっ?無宗教ってどういうこと…?「花見」が夜に開催されたり、いや、暗くて桜、見えへんやん…!マリ出身。大学学長。日本に住んで、30年。



『十勝ひとりぼっち農園 〈1〉 1年目の冬』

横山 裕二【著】

東京在住の漫画家、北海道で農業始めます!編集長の指令を受け、十勝へ(ガチで)引っ越した横山先生…はじめての農業はハプニング満載。美味しい野菜、そして日本一のカレーは作れるの!?

【その他の新着図書】

私が見た未来/完全版	たつき 諒	コミックス
小説8050	林 真理子	文学
ディープフェイク	福田 和代	文学
1%の努力	ひろゆき	哲学
闘心鷗外、最後の絶叫	西村 正	文学
パンどろぼう	柴田 ケイコ	絵本
人新世の「資本論」	斎藤 幸平	経済
絶滅危倶動作図鑑	藪本 晶子	総記
救国ゲーム	結城 真一郎	文学
むき出し	兼近 大樹	文学
ロミオとジュリエットと三人の魔女	門井 慶喜	文学
ヒトラ—虚像の独裁者	芝 健介	伝記
ロボットと人間一人とは何か	石黒 浩	技術
金融サービスの未来—社会的責任を問う	新保 恵志	経済
企業と経済を読み解く小説50	佐高 信	文学
うつりゆく日本語をよむ—ことばが壊れる前に	今野 真二	言語

タイトル

『心を整える。勝利をたぐり寄せるための56の習慣』

長谷部 誠 著(幻冬舎文庫)

私は忙しいという言葉があまり好きではない。集会などで話をしたこともあるので、頭の片隅にでも残ってれば嬉しいのだが…

学生時代、忙しい人こそ仕事ができる人で有り、活躍している人、カッコいい大人であると感じていた。自分も早く忙しくなり、カッコいい大人になりたいと考えていた。

しかし現実には、年齢経験関係なく膨大な仕事があり、目の前には必ず何かしら解決させないといけない案件が山積みである。社会人になってすぐ、忙しい人になることができた。そして気づいた

忙し人≠カッコいい大人

忙しい人は、作業効率が悪く期限ギリギリで仕事をししてしまう。スケジュール管理も悪く、緊急事態に振り回される。段取り根回しも下手で、仕事をしながら何をするか考えてしまう。優先順位の付け方が下手で、目先の仕事で手一杯。そして、最終的には自分のプライベートな時間を取れず、その膨大な案件に心を亡くして取り組んでしまう。

そう、私は忙しい人ではなく仕事ができる人になりたいのであった。

他人から見ると何かゆったり、自分のペースで仕事をしているように見えるが、結果として大量の仕事を行ったりしている。カッコ良くないですか? そのためには、ビジョンを持ち、心を持って仕事に取り組む必要がある。

今回紹介する、『心を整える』は、言わずと知れた大ベストセラーで、皆さんも読んだことがあるかもしれない。その中で私のお気に入り、

47迷った時こそ、難しい道を選ぶ。51外見は自分だけのものではない。

この本は1つの項目が5分程度で読むことができ、誰かを相手にするのではなく、自分自身に目を向けることができる著書である。ぜひ皆さん読んでみてください。

自分の心が整うことだけで、仕事ができる人にはなれないので、そこはこれから努力ですけどね。